

平成26年度事務事業評価シート

取組みコード 22132

区分	事務事業	担当課	環境課	作成日	平成26年5月13日
事業名	美化啓発活動費	開始年度	不明	予算科目	4.1.4.3.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり
章	第2章 総合的な環境対策
節	第1節 環境対策の推進
基本施策	3 環境美化対策の推進
取組みの基本方向 (2)美化意識の普及・啓発をはかります	
根拠法令等	愛川町みんなで守る環境美化のまち条例
目的 (誰・何を対象に、何のために)	住民の環境意識の高揚を図るとともに、公害の未然防止や廃棄物の不法投棄防止対策の強化など、将来にわたって誇ることのできる美しいまちづくりに取り組む
内容・方法 (何を行っているのか)	あいかわごみゼロ・クリーンキャンペーン及び環境ポスター展を開催し、自然豊かな美しい町の実現を図るため、自主的な環境保全活動や美化思想の普及や意識の向上に努め、併せて不法投棄抑止にかかる施策を展開するなど、美化啓発にかかる事業を行っている

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
	ごみゼロクリーンキャンペーンの参加人数		6923.0	7300.0			
			上記は22年度現状値				
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果	ごみゼロクリーンキャンペーンの参加人数を増加させる						
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ごみゼロクリーンキャンペーンの参加人数	増	人口減少化、高齢化に伴う参加可能人口が減少するなかで、参加人数を増加させることが、住民の環境美化にかかる意識の向上を把握する指標としてふさわしい。	計画値		7,085.0	7,139.0	7,193.0
			実績値	6,653.0	6,711.0	6,713.0	
			達成度※自動計算		94.7	94.0	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動	キャンペーンの周知及び実施・参加する意義の啓発						
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
周知・啓発活動	増	当該事業実施にかかる情報の提供の回数を多くすることにより、潜在的な参加人数の掘り起こしや参加のきっかけにつながる	計画値		2.0	2.0	2.0
			実績値		2.0	2.0	
			達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算)(H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算見込)	平成26年度(予算)
(A) 事業費(円)	2,148,616	1,492,402	2,899,575	2,711,000
(B) 概算職員数(人)	0.200	0.200	0.200	0.200
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	1,660,000	1,660,000	1,660,000	1,660,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	3,808,616	3,152,402	4,559,575	4,371,000
単位当たりコスト ※自動計算	572.5	469.7	679.2	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	840,381	600,000	1,284,000
一般財源 ※自動計算	2,968,235	2,552,402	3,275,575	3,259,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である。	○	B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。		
	国や県において同種類の事業が実施されていない。	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。		
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。		
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。	○	
	町民の日常生活に必要な事業である。	○	
上記のいずれにも当てはまらない。			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成25年度の目標を達成している	×	B
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用増>成果アップ	C
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

年度により、備品を購入し、事業費が膨らむなど、定例的な予算編成・執行ではなく、クリーンキャンペーンについても参加者が増加するほど、集められるごみ量も多くなり、処理費用を多く要する傾向であるため、効率性の自動判定欄はなまない。

6. 自己評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	住民構成は、自然増減、社会増減等により日々変化しており、環境美化啓発にかかる事業は継続して行っていく必要があるため					
今後の方向性	地域における環境美化意識の向上や啓発にかかる事業を継続して行っていく。					

7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	効率性の評価がCであるのは、年度により備品購入費の大小が異なること、参加者が多くごみの量が増加すれば処理費用も増加することによるものであることから、所管課の方向性のとおりとす。					

8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/					

9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 再構築	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					